



奥村土牛《鹿》1968(昭和43)年 紙本・彩色 山種美術館蔵

第 120 期

2018年4月1日～2018年9月30日

中間株主通信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第120期上半期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の株主通信をお届けいたします。

はじめに、当社グループの現状と今後の動向についてご説明させていただきます。



1 第120期（2019年3月期）上半期について

第120期上半期におけるわが国の経済は、西日本集中豪雨や北海道地震などの影響もあり、7～9月の成長率は一時的に低下したものの、全般的には個人消費と設備投資を中心とした内需の拡大により、引き続き堅調に推移しました。

このような環境下で、ヤマタネグループの上半期連結業績は、不動産部門の増収を主因に、売上高は273億94百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は33億50百万円（同43.9%増）となりました。経常利益は、受取配当金の増加および支払利息の減少により31億90百万円（同50.3%増）となりました。企業年金基金脱退損失57百万円を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億12百万円（同33.9%増）となりました。

2 今後の展望について

今後を展望いたしますと、わが国の経済は、米中摩擦等の下振れリスクを内包するものの、総じてみれば企業業績の拡大や雇用情勢の改善を背景とした設備投資や個人消費等の国内民需が景気を下支えし、2019年10月の消費税増税前までは景気の拡大基調が続くと見込まれます。

このような状況下で、第120期（2019年3月期）の連結業績予想は、不動産部門の増収を主因に、売上高は543億30百万円（前期比1.3%増）の増収を予想しております。また、営業利益は53億80百万円（同16.6%増）、経常利益は50億20百万円（同15.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は29億90百万円（同17.5%増）を予想しております。この結果、中期経営計画「ヤマタネ 2019プラン」で目標とした営業利益50億円、経常利益45億円を上回る見込みです。

3 中長期的な会社の経営戦略について

来期からは、「ヤマタネ 2024ビジョン」における第二次中期経営計画となります「ヤマタネ 2022プラン」に取り組む予定です。

物流部門におきましては、整地作業を終えた印西市の土地において、倉庫の設計施工段階に進みます。また、横浜市の下郷埠頭再開発に伴う営業所の移転を含め、新たな営業拠点の準備を進めてまいります。一方、海外の拠点を拡充することも計画しております。

食品部門におきましては、産地との取り組みを更に進めます。当社向けに栽培をお願いしてまいりました多収穫品種である「萌えみのり」および「あきだわら」の生産量は今年1万トンを超える規模となりました。これらの品種は、お取引先様から高い評価をいただ

ております。次期中期経営計画におきましては、独自品種の栽培拡張とともに精米拠点の拡充も予定しております。

情報部門におきましては、従来得意としてまいりました中・大型コンピュータ向けの基盤システムの開発・維持業務を軸に、近年需要が伸びているオープン系のソフト開発にも注力してまいります。また、物流部門をはじめ他の事業部門に対するシステム支援を加速してまいります。ヤマタネグループならではの「人」と「IoT」の調和を進めます。

不動産部門におきましては、日本橋兜町の再開発に着手し、8月より既存ビルの解体が始まりました。2020年度まで3年をかけて、国家戦略特区の整備事業に相応しい、地上15階、高さ90mの最新ビルに生まれ変わります。

刻々と変化する環境等に機動的かつ柔軟に対応しながら、「ヤマタネ 2024ビジョン」の実現に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

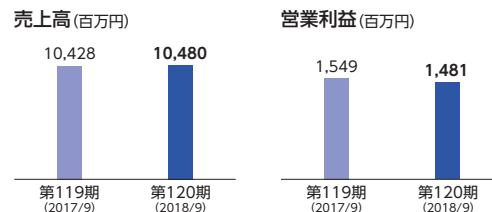
代表取締役社長

山崎元裕

物流部門

■ 売上高 10,480百万円 ■ 営業利益 1,481百万円

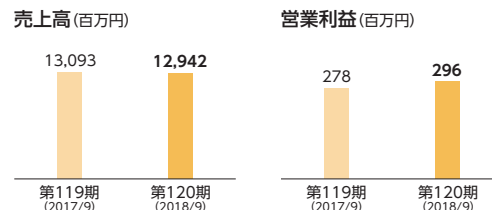
物流部門では、堅調な国内経済を背景に倉庫の保管残高・荷動き共に底堅く推移したことから売上高は104億80百万円（前年同期比0.5%増）となりました。一方で営業利益は、荷役や運送関連の下払い費用の増加等により14億81百万円（同4.4%減）となりました。



食品部門

■ 売上高 12,942百万円 ■ 営業利益 296百万円

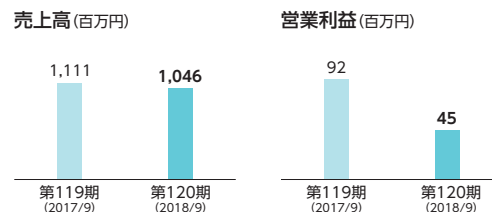
食品部門では、3年連続となりました米価上昇の影響による需要減少を受け、総販売数量は45千玄米トン（前年同期比7.8%減）となりました。この結果、売上高は、129億42百万円（前年同期比1.2%減）となりました。一方で営業利益は、業務効率の改善が奏功し、2億96百万円（同6.2%増）となりました。



情報部門

■ 売上高 1,046百万円 ■ 営業利益 45百万円

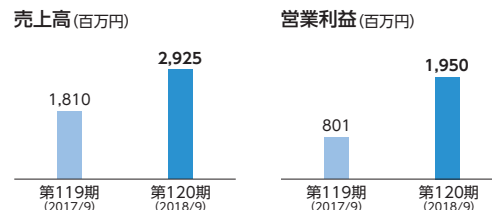
情報部門では、システム開発事業の大口案件が終了したことや、開発技術の向上および人員育成に注力したことなどにより、売上高は10億46百万円（前年同期比5.8%減）となり、営業利益は45百万円（同50.5%減）となりました。



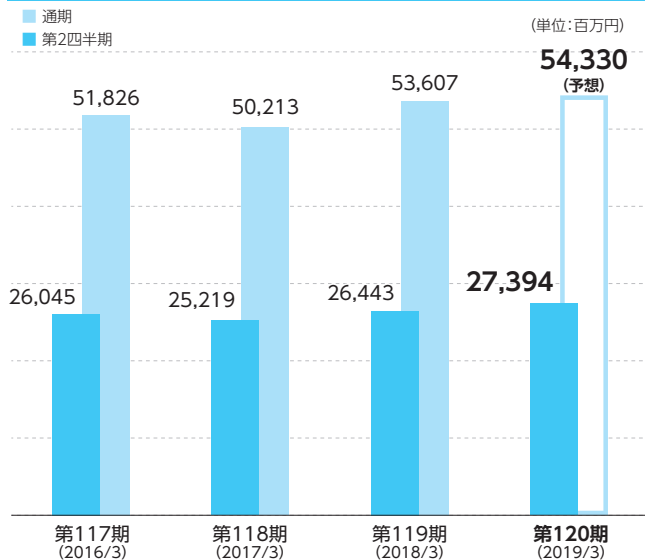
不動産部門

■ 売上高 2,925百万円 ■ 営業利益 1,950百万円

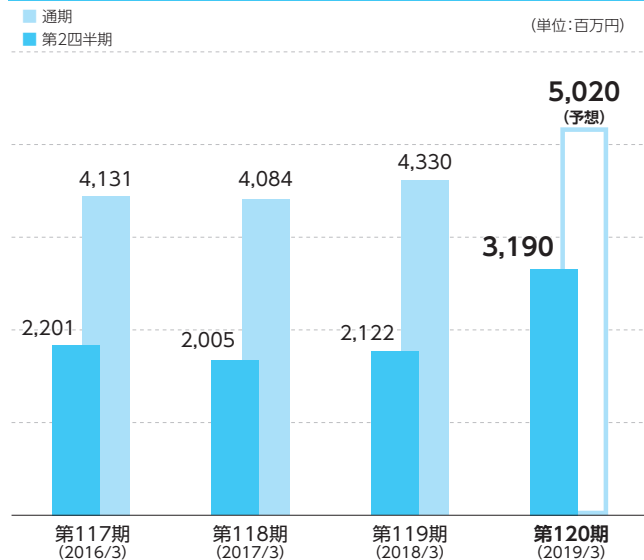
不動産部門では、再開発に伴う賃貸ビルの閉鎖により賃料収入の減少がありました。販売用不動産の売却に伴う販売収益の大幅な増加により、売上高は29億25百万円（前年同期比61.6%増）となり、営業利益は19億50百万円（同143.5%増）となりました。



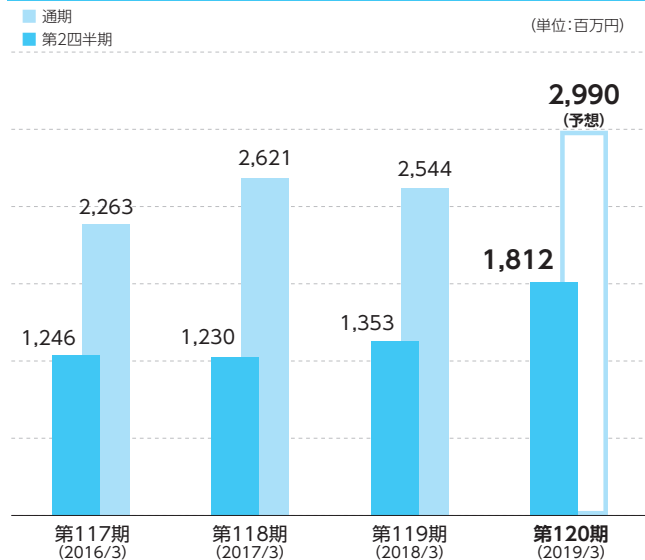
売上高



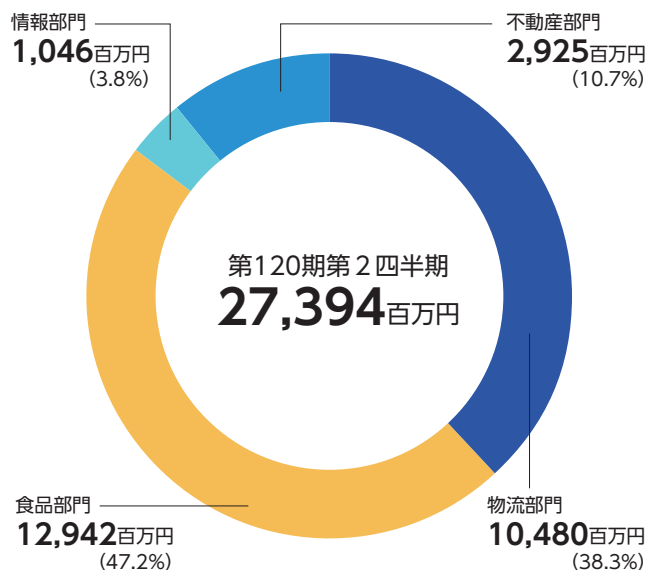
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



部門別売上高比率



ヤマタネグループの企業価値向上に向けた取り組みをご紹介します。

連結子会社の商号を統一

「ヤマタネ 2024ビジョン」では、グループ一体運営をさらに強化してまいりたい方針です。各部門を横断する改善・開発プロジェクトが複数活動しております。また、営業会議なども異なる部門の社員が出席し、多角的な討議を行っております。

さて、当グループは4月1日、グループ一体感の醸成を進めるため、連結子会社の社名を下記の通り変更いたしました。

変更前	株式会社中央ロジスティクス 〈一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業〉
変更後	株式会社ヤマタネロジスティクス
変更前	株式会社アクティブ 〈荷役業〉
変更後	株式会社ヤマタネロジワークス
変更前	ソリューション・ラボ・東京株式会社 〈情報関連事業〉
変更後	株式会社ヤマタネシステムソリューションズ

不動産事業子会社の山種不動産株式会社およびコメの搗精を担う山種商事株式会社と合わせ、グループ全社に「やまたね」の冠を付けました。

「ヤマタネ 2024ビジョン」の達成に向け、グループ一体で成長し続けます。

ヤマタネ

今般の社名変更に伴い、ヤマタネロゴをグループ共通ロゴとして制定いたしました。

社債発行にかかる発行登録に関するお知らせ

当社は、8月31日、社債の発行登録書を関東財務局長に提出いたしました。本発行登録は、資金調達手段の多様化による財務安定性の向上を企図し、金融機関からの間接金融による資金調達等と合わせて、ヤマタネグループの将来の成長に必要な資金を機動的に調達できる体制を構築することを目的としたものであります。

本発行登録書の概要は下記のとおりです。

発行登録書 概要	
募集有価証券の種類	社債
発行予定期間	発行登録の効力発生予定日から2年を経過する日まで (2018年9月8日から 2020年9月7日)
発行予定額	100億円
資金使途	設備資金、投融資資金、借入金返済資金、社債償還資金及び運転資金に充当する予定であります。

なお、当社は株式会社格付投資情報センターより、発行体格付「BBB（格付の方向性：安定的）」と発行登録に関する予備格付「BBB」を取得しております。



©公益財団法人 JR東海生涯学習財団

特別展 皇室ゆかりの美術 — 宮殿を彩った日本画家 —

2018年11月17日(土)～2019年1月20日(日) *会期中、一部展示替えあり (前期：11/17-12/16、後期：12/18-1/20)

山種美術館ではこの秋、創立者の山崎種二が、1968(昭和43)年に完成された皇居宮殿を飾った美術品に感銘を受け、山口蓬春、上村松篁、橋本明治、東山魁夷ら宮殿装飾を手掛けた日本画家たちに依頼し制作された、宮殿にちなんだ作品を4年ぶりに一挙公開します。加え

て、天皇の手になる書(宸翰)や宮家に伝来した絵巻、皇族から下賜された美術工芸品、宮家旧蔵の日本画、帝室技芸員の作品など、皇室とゆかりの深い作品もご紹介いたします。

会場	山種美術館
主催	山種美術館、日本経済新聞社
開館時間	10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日	月曜日 [但し、12/24(月)、1/14(月)は開館、12/25(火)、12/29(土)～1/2(水)、1/15(火)は休館]
入館料	一般1,200円・大高生900円・中学生以下無料
お問い合わせ	03-5777-8600 (ハローダイヤル)
URL	http://www.yamatane-museum.jp/

今後の展覧会

- 山種美術館 広尾開館10周年記念特別展
生誕130年記念 奥村土牛
2019年2月2日(土)～3月31日(日)
花・Flower・華 —四季を彩る—
2019年4月6日(土)～6月2日(日)

詳細は山種美術館HPをご覧ください

絵：右・山口蓬春《新宮殿杉戸楓4分の1下絵》1967(昭和42)年 紙本・彩色 山種美術館

左・東山魁夷《満ち来る潮》1970(昭和45)年 紙本・彩色 山種美術館

● 会社概要

商号	株式会社ヤマタネ Yamatane Corporation
創業	1924年7月
資本金	105億5,500万円
従業員数	799名(連結) (単体 331名)

● 役員 (2018年11月30日現在)

取締役社長	山崎 元裕	社外取締役	齋藤 彰一
専務取締役	角田 達也	社外取締役	岡 伸浩
専務取締役	鈴木 康道	常勤監査役	土屋 修
取締役	曾我部 誠	常勤監査役	馬場 敏行
取締役	平田 実	社外監査役	清水 満昭
取締役	長谷川 哲彦	社外監査役	内藤 潤

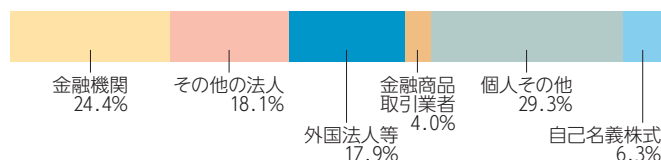
● 株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	11,344,181株
株主数	6,875名

● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	517	4.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	502	4.7
山崎 元裕	418	3.9
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUSUT. BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM	405	3.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE - AC)	377	3.5
東京海上日動火災保険株式会社	311	2.9
S M B C 日興証券株式会社	304	2.9
清水建設株式会社	300	2.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	286	2.7
ヤマタネ従業員持株会	263	2.5

● 株式分布状況



● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	(インターネットホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html
定時株主総会	毎年6月開催	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	公告の方法	当社のホームページに掲載する。 https://www.yamatane.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。
		(電話照会先)	☎0120-782-031	上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお手続きおよびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開通しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。